

みずほCustomer Desk Report 2017/09/27号(As of 2017/09/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.62 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.73	1.1856	132.49	0.9662	1.3470	0.7938
SYD-NY High	112.49	1.1861	132.60	0.9726	1.3514	0.7949
SYD-NY Low	111.50	1.1758	131.75	0.9654	1.3410	0.7860
NY 5:00 PM	112.24	1.1795	132.37	0.9687	1.3458	0.7886
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.58/9.98		△25RR	1.070	Yen Call Over	

NY DOW	22,284.32	▲ 11.77	債券市場	日本2年債	-0.1240	-
NASDAQ	6,380.16	9.57		日本10年債	0.0340	0.6bp
S&P	2,496.84	0.18		米国2年債	1.4356	1.3bp
日経平均	20,330.19	▲ 67.39		米国5年債	1.8583	2.2bp
TOPIX	1,672.74	▲ 0.08		米国10年債	2.2357	1.6bp
シカゴ日経先物	20,270.00	65.00	為替市況	独10年債	0.4080	0.8bp
ロンドンFT	7,285.74	▲15.55		英10年債	1.3300	▲0.4bp
DAX	12,605.20	10.39		豪10年債	2.7700	▲2.9bp
ハンセン指数	27,513.01	12.67		USD/CNH	6.6284	0.0160
上海総合	3,343.58	2.03		ドルインデックス	92.97	0.32
USDJPY 3M Vol	9.76	▲0.13%	商品市況	CRB指数	183.396	▲1.21
USDJPY 6M Vol	9.76	▲0.09%		NY金	1,301.70	▲9.80
EURJPY 3M Vol	9.83	▲0.10%		WTI	51.88	▲0.34
EURJPY 6M Vol	10.01	0.00%		Dubai Spot	56.97	1.38

東京	東京時間オープン前に発表された日銀議事要旨(7/19-20開催分)では、「大方の委員は、2%の物価安定の目標に向けたモメンタムは維持されているとの認識を共有した」「多くの委員は現在の金融市場調節方針のもと、強力な金融緩和を粘り強く推進していくことが適切であるとの認識を共有した」と記載されていたが目新しい材料はなかった。ドル円は111.80をつけた後、111.73レベルと小幅に下落して東京時間オープン。引き続き北朝鮮情勢が意識される中、安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させたこともあり、ドル円は111円台半ばまで下落。但し、海外時間には米FRB高官の発言が複数予定されていることから様子見ムードも広がる中、111.50-60台を中心とした小幅な値動きとなる。一方で、安値111.50を下抜けするには至らず、111.53レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.53レベルでオープン、NY時間に予定されるイエレンFRB議長、ブレイナードFRB理事、メスター・クレーブランド連銀総裁などの講演で派手的な発言を期待する向きもあったとみられ、ドル買い優勢の展開。111.97のロンドン時間高値をつけた後、111.95レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3480レベルでオープン、ロンドン地下鉄のターミナル駅で爆発があったと伝わったことや、トスケEU大統領から来月予定されているユーロ圏財務相会合や欧州理事会では交渉進展の不十分さからBrexitが議題に挙がることはないとの発言が報じられたこと等から1.3412まで軟調に推移。1.3422レベルでNYに渡った。(ロンドンローリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は111.95レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇やユーロドル下落を背景とするドル買いにより、112.00を上抜け112.23まで上昇。発表された米8月新築住宅販売件数、米9月消費者信頼感等は予想を下回ったが、ハリケーンによる一時的要因との見方もあり、市場の反応は限定的。予定よりもやや早めに始まったイエレンFRB議長講演では、冒頭に「低インフレは一時的」とながらも「その判断には不透明性が伴う」「予想以上に低インフレが続く可能性もある」と言及したことから、まずはドル売りで反応してドル円は112.20付近から112.01まで下落。しかし、その後「あまりに緩やかすぎる利上げには注意すべきである」とし、「インフレが2%に戻るまで利上げを凍結するのは賢明ではない」と指摘したこと、ドル円は112.49まで急反発した。但し、112円台半ば突破には至らず、その後は112.20付近で推移。結局、112.24レベルでクロスした。一方ユーロドルは、1.1788レベルでNYオープン。米金利の上昇と共にドル買いが強まり、1.17台半ばまで下落。イエレンFRB議長の効率的な発言を受けて安値1.1758まで下落したが、8月23日以来約1ヶ月ぶりとなる同水準では下げ止まった。その後は1.1810まで反発し、1.1795レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月26日	7:30	米 カシカリ・ミニアポリス連銀総裁 講演	-	-
	8:50	日 日銀議事要旨(7/19-20開催分)	-	-
	22:30	米 メスター・クレーブランド連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	8月 560K	585K
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	9月 119.8	120.0
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	9月 19	13
	23:30	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-
9月27日	1:30	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	1:45	米 イエレンFRB議長 講演	-	-

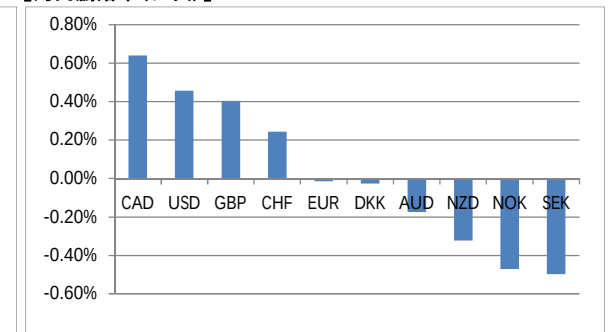
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月27日	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-9.7%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	8月 1.0%	-6.8%
	21:30	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・速報	8月 0.2%	0.6%
	21:30	米		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.1720-1.1820	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場では年内の追加利上げを示唆したイエレンFRB議長発言を受けドルは広範に上昇した。イエレン議長が「インフレが2%に届くまで金利を据え置くことは賢明でない」と発言し、年内利上げを改めて示唆したことによりドル/円は112円半ばまで上昇した。本日も期末フローに振られるだろうが基調としてドルは底堅いと見ておきたい。実需の売りが控えていると噂される113円台を目指す展開となろう。